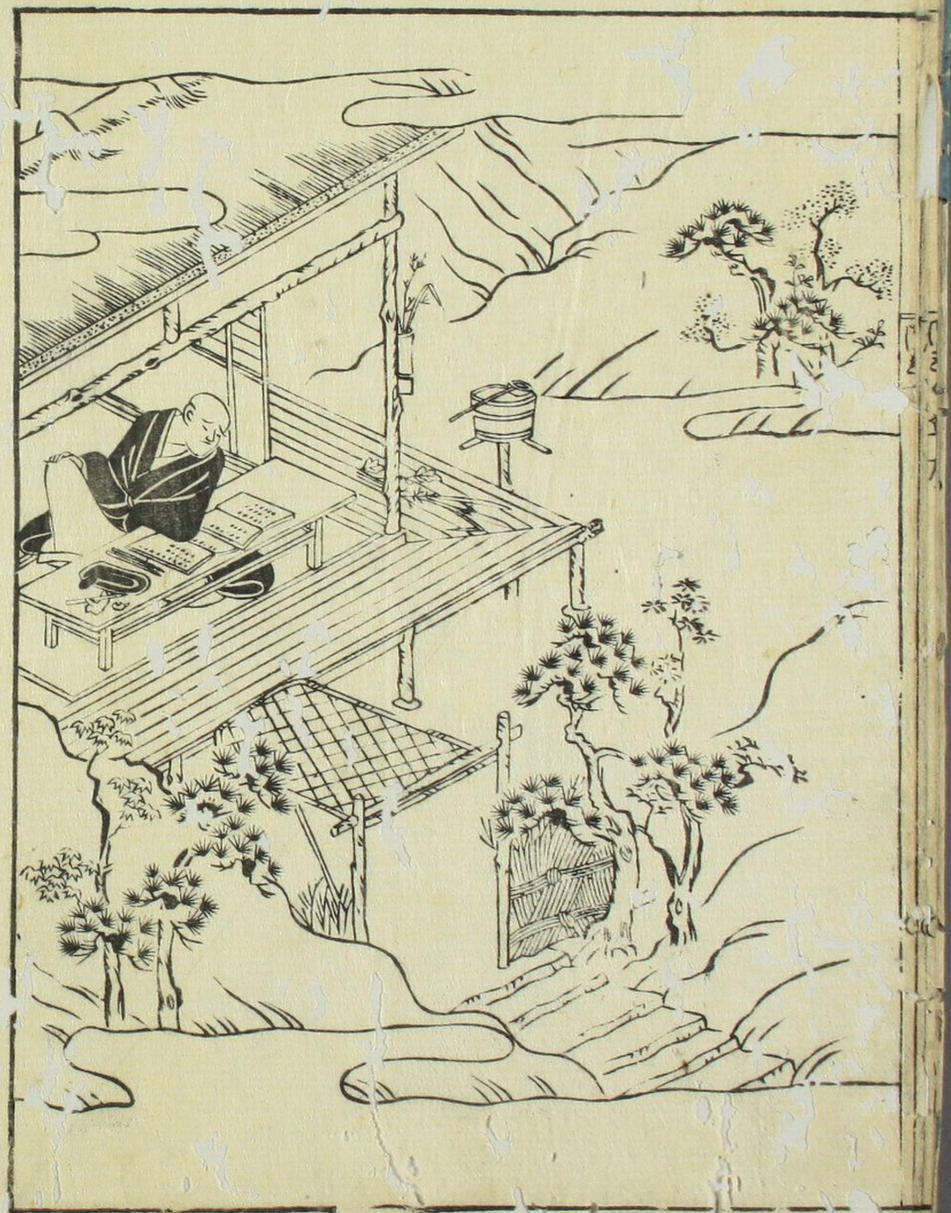
古書 古筆 入一

徒然艸者兼好法師之著行于世
惟久其為用如天道人事遺備具
中無振古其辭往々有歟諸子異
同難之考定洛東三木隠人抜萃
校訂彙集成帙終以鏤梓陸人此
挙尚検古刖典證增富非正訛於

曙文庫

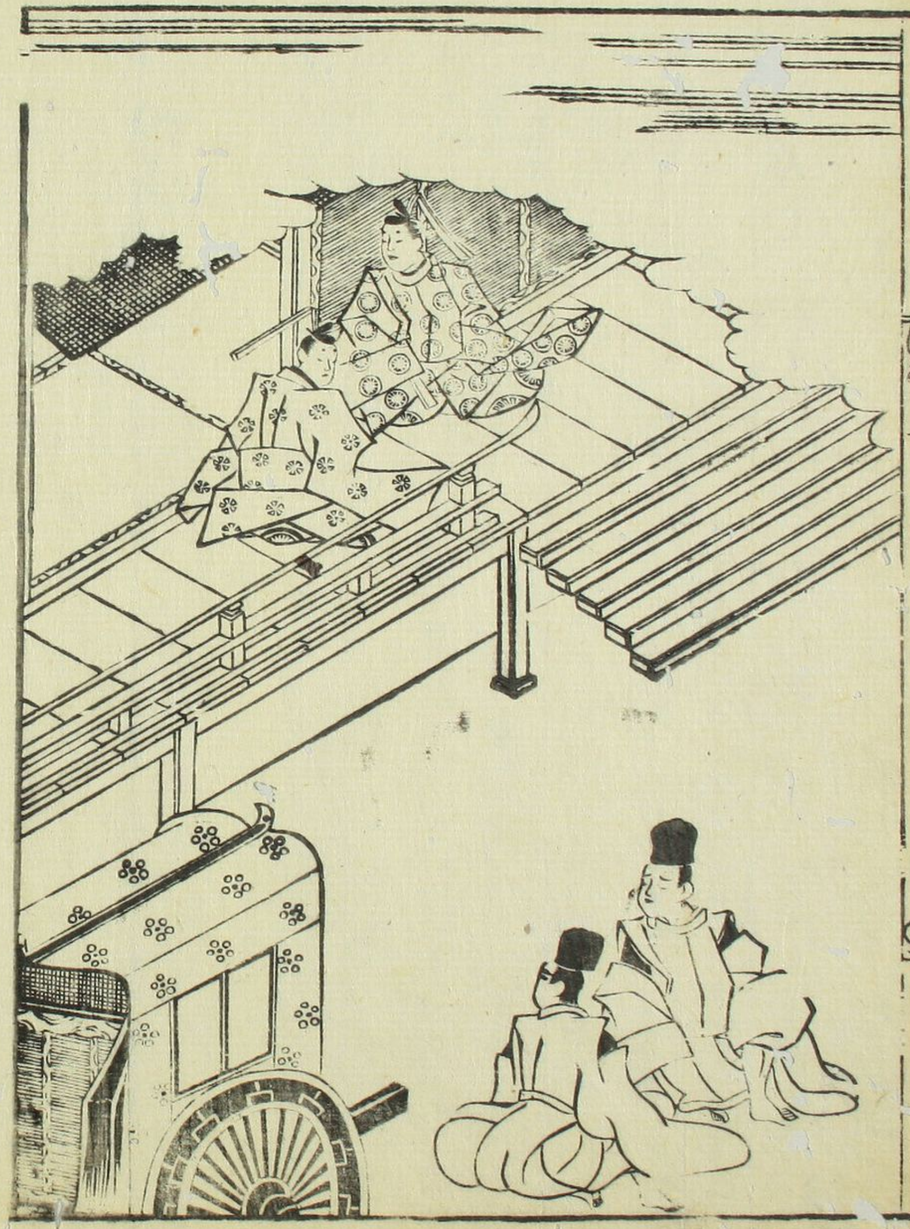
法師ノ之志ノ為ニ往ク助ケ有
便於天道人事ニ潜也一日推ノ来請
述数語ラシ於巻端ニ偶觀此ノ編ノ感真ノ
功ヲ不ル獲辞ヲ應ニ求ニ以テ序ス之ニ禄辛未夏
五洛澹能谷散人書ス秋香館下ニ

法師ハ京都ノ人六歳ニ剃髪十九代ノ祖ハ右京太夫ノ豪名ヲ
孫義弘ノ子ニシテ父ノ吉田家ニ有職ノ事ニ従ヒ禁中ニ流口ヲ
有職ノ事ニ従ヒ禁中ニ流口ヲ
院ノ崩ルヤ法名ヲ用テ兼好法師ト云リ文雄家ノ諸ヲ
の四天王ノ如ク称ス彼家集徒然草ハ
観應元年四月八日ニ六十六歳ニシテ
院ヨリ位階ヲ兼好墓ハ双岡ニ
之国田余保ニ乾坤塚ニアル
日ニ傍ニ俗名左兵衛ト部ヲ兼好朝臣ト二行ニ記ス
ノ兼好乱世ニシテ遁国ノ心ヲ
假ノ陵墓ト
院観應元年ニ
ノ北朝ノ乱ニ
ハ高ニ



王二千二百里、竹ヲ好ム。植ル廿五王ハリ是ヨリ竹園ノ名アリ。竹ノその一ごとう、未葉ヲ
ハくをとり人ろの種あらぬ。本朝ハ異国（遠）神国ナレバ天神地神ヨリ人皇ニそぐりモト神武ヨリ人ニ至リ絶ぬ。伝ハ是ハ為常ノ人の種なくぬぞ
やんごとなき 無止 一の人 職原鈔 親王必蒙一座、宣旨故ホニ一ノ人ト云 摂政関白ノ事ニ
そく人も舎人なし
そのよひまぎ ごろ縁 そのとき 故
埣ト書ク。ごろ ごろ 伊勢物語 その里にいとかしこき婦ノ上ヨ
婦ト ごろ ごろ
ごろ ごろ 舎人ハ近ク人ニ随フ者ニ
ごろ ごろ
ごろ ごろ 小侍ノ事ニ
ごろ ごろ 本府ニ随フ者ハ天子ノ
免ナリ。ごろ ごろ

どうろうごろ ごろ 除 ごろ ごろ 一段ヲ毎ニ
のぶしまごろ ごろ ごろ ごろ 源氏物語
ごろ ごろ 優美ノ ごろ ごろ
ぶらごろ ごろ ごろ ごろ 義ノ ごろ
ごろ ごろ 最 ごろ 師ごろ
ごろ ごろ 源氏ノ同ニ ごろ ごろ
ごろ ごろ 梅ノ ごろ ごろ
ごろ ごろ ごろ ごろ
ごろ ごろ ごろ ごろ
ごろ ごろ



言葉多
うるど 論語里仁曰、欲訥於言而敏於行。

心おそく ちゝひとのみ人そだてる母

かた性かたん 性。天性こと質ノ性アリ天性渾然ぶつ善ニ悪ニ流ル気質ノ性ハ物ニ感ジ安さ如之真ニ感ジ悪ニ流ル性と向ノ人ニ見人ハ口行ニ

賢うり吸さ 論語學而賢賢易色トアリ賢ヲ賢トシ色ヲ易ルトイヘリ

ぢんと 中ノ上ノ人ヲ尚ブ

青職 モノニルコトアリトヨメリ禁中ノ故実トワきまえ人みな

公事 ヲホヤケゴトヽヨメリ

年中行事ネンヂウギヤウジ 人の鏡ひとのかゞみ

いう海そ 人のそろ附ふ

ひそ 田舎ぶりのうぶに下戸あそ

むしろ 古ノ聖代ノ時ハ

養。そだて下戸ノ説ヲ用ヒ 古の聖代代

此段ハ、民ヲ治テ人ノ主ト人ノ心ヲ

しる文の道と傍うて古の聖代ノ倹

約ヲ以テ剣どうをれ玉道ぜうて国ノ

禁のそうぶなやうなりひなさやとと

るくでう 就ることをなう人ももつ

ちうとてぴまとりそこ

ぬなうちなとおうちこと事々

まにき文の道 詩文

つかの愛絵の

道。うこと首機よ公事のこと人の続な

うんそいうことべをれもるにはされ

うはけうをれ 琴すくて拍よご

うぴ田ーうも物うをこのあ

そおうこいようまれ

國

いかー色のひーうまれ代の政とと

ワうと民の慈。ぬそこるつうを

もうぐよさとそとて

いつといふ一人の聖にハ三皇五帝我朝の神武ゟこのかた仁徳なごと心を合てスナリ

民の慈 唐土ノ聖代ハ四海の民とよの如クにミつ民も君と又母の如く仰くかゟ仁徳の御衣にかさやよハゟそれ烟り民の竈、さかひにくりてゟひなと貢とゆるすこと

さようとて 尚書 聖代君茅茨不剪采椽不斲 舟車不飾衣服無文 唐 花蘂夫人傳

九條殿遺誡 右丞相師輔公ノ小一條太政大臣忠平貞信公男ニ始自衣冠及干馬車ニ随有用之ゟ加永義廉トアリ

順徳院 なる羽院才三皇子

もの物 禁裏被物 天子ハ衣裳ト調進ゟる例と書せの人処 天子ハ着御ノ物 以疎ゟ天ニアリ

ゟこのほゟゟん 此段若ゟ対女色ゟをゟると婬ノ事ハ唐我朝の事ハゟゟ引ゟるゝひゟるゝといろこのまぬ男ゟ至愚ノ者なりさたよくてゟきゟま婦ハ五倫の一ツ自ノ人情ゟ

いろ〳〵と斗りひぬ 所狭 うそ斗りつくろひなくて人中まじハゟ 浮情 うそ斗りつくろひなくて人中まじハゟる事ハいろまでゟりにくゝひてゟらひよぬ実ゟとりしまりかゟそれ九條殿の遺誡ゟ仍ゟ咫院の禁中の事ゟゟくゟゟみのぬ衣服ゟ文ゟ花蘂夫人傳 九條殿遺誡 忠平貞信公男ニ始自衣冠及干馬車ニ随有用之ゟ加永義廉トアリ

順徳院 なる羽院才三皇子

もの物 禁裏被物 天子ハ衣裳ト調進ゟる例と書せの人処 天子ハ着御ノ物 以疎ゟ天ニアリ

ゟこのほゟゟん 此段若ゟ対女色ゟをゟると婬ノ事ハ唐我朝の事ハゟゟ引ゟるゝひゟるゝといろこのまぬ男ゟ至愚ノ者なりさたよくてゟきゟま婦ハ五倫の一ツ自ノ人情ゟ

雑ゟ色と思ゟゟな人ゟんやゟれハ断てゟを好ゟん人ハ却て人情の偏ゟる人やゟえ去ゟ其好処ニ付て無ゟ不及処ゟ設て殿ゟ事ゟとゟゟ初ハ男女の道やゟき事と述終ハ一向ゟとれゟゟわゟぐとゟ事ゟ此段ノ骨髄ゟ前位ノ見合一章の心と知べし

ゟゟゟゟゟゟゟゟ色好人のゟをゟて何の思ゟ迷ゟゟ我心と女ゟんこゟまて共ひゟゟぐゟゟこゟもゟゟゟゟゟゟゟゟ

主人の勘気を受け領地雑色農人迄
手に至高価の寶買利を失ふ類と
悉よろこびし主雑色親別と妻哭
子と先を皆愁へびと傷み心ふさに
鬱落一つの心ばせもなく愛着のひとつに
月罪なくて久しくまうでなば
[丙]おほやけのおんごとなうんもまして
かぞふるうんもまして
頭基中納言後一條院近臣と
西の宮左大臣高明公の孫大納言俊賢
卿一男と配所罪の軽重によりて左遷
八人と置所ごと此頭基中納言心ばせ
なくて同なる所八月とうてことごと追遣
と好ましうの心よりおこれる
我おのやんごとなき儲の君ごとおぼし
[乙]次ぐ儲の君八違ふやうありけん
心得わくことなし愚なる父うちの賢
なることはよりもまさる人倫に越情の
もの心ばへをもてよく疎くなりぬ
なんやうにとうとう疎くなりぬ
まのことなれるよりつとこれ

[七]おぐら山里の心ばせうち住うち人同人りかず給人なく
もなくちりぢりにわかれ
まう散ぬる中納言のいひ尽せぬ配所の
月罪なくて久しくまうでなば
[丙]おほやけのおんごとなうんもまして
かぞふるうんもまして
頭基中納言後一條院近臣と
西の宮左大臣高明公の孫大納言俊賢
卿一男と配所罪の軽重によりて左遷
八人と置所ごと此頭基中納言心ばせ
なくて同なる所八月とうてことごと追遣
と好ましうの心よりおこれる
我おのやんごとなき儲の君ごとおぼし
[乙]次ぐ儲の君八違ふやうありけん
心得わくことなし愚なる父うちの賢
なることはよりもまさる人倫に越情の
もの心ばへをもてよく疎くなりぬ
なんやうにとうとう疎くなりぬ
まのことなれるよりつとこれ

延喜帝の子の母八条[illegible]
又村上天皇御子具平親王と
中納言にて中書王と申す
[illegible]具平八後ノ中書王ナリ[illegible]
[illegible]大政大
臣良房謚忠仁公ト申ス清和天皇外
祖父ニ後見ノ所ノ名ナリソコニ住ル故ニ後
ノ大臣ト申ス[illegible]物語一名大鏡ト号ス
文徳天皇ヨリ後一條十四代年百七十五
年ノ中ヲ載ル記録ニ藤原氏ノ繁昌ヲ書リ
聖徳太子用明天皇ノ一皇子厩戸
皇子ト云豊聰耳ノ皇子ト申スナリ
御墓ハ存生ノ時ニ河内国ノ名河郡
ニ於テ墓ヲ造修ラレ墓ヲ
今河内ノ上ノ太子ト云ヘリ
太子傳ニ云此處必ス墓所ヲ
絶ス子孫之後墓ヲ随命ニ可絶者絶可
切者切下畧
[七]おぐら峰只おぐら峰
いひもてるなり山ニ猶一まれ名所ども
ようさ今嵯峨奥おぐら峰ニ化野と

[illegible]延喜帝の子の母八条[illegible]
又村上天皇御子具平親王と
中納言にて中書王と申す
[illegible]具平八後ノ中書王ナリ[illegible]
[illegible]大政大
臣良房謚忠仁公ト申ス清和天皇外
祖父ニ後見ノ所ノ名ナリソコニ住ル故ニ後
ノ大臣ト申ス[illegible]物語一名大鏡ト号ス
文徳天皇ヨリ後一條十四代年百七十五
年ノ中ヲ載ル記録ニ藤原氏ノ繁昌ヲ書リ
聖徳太子用明天皇ノ一皇子厩戸
皇子ト云豊聰耳ノ皇子ト申スナリ
御墓ハ存生ノ時ニ河内国ノ名河郡
ニ於テ墓ヲ造修ラレ墓ヲ
今河内ノ上ノ太子ト云ヘリ
太子傳ニ云此處必ス墓所ヲ
絶ス子孫之後墓ヲ随命ニ可絶者絶可
切者切下畧
[七]おぐら峰只おぐら峰
いひもてるなり山ニ猶一まれ名所ども
ようさ今嵯峨奥おぐら峰ニ化野と

云墓所アリ露ところ〳〵枕詞よも
鳥辺山 洛ノ東山ニアリ烟ヨリテつゐ
枕詞ヨリ此段人長命ナレハ無常ノさ
ひとつとれ物ノわすれもすず貪欲ヨ
ふかくして悲しくなるよ物なれハで
死ん〳〵ヨリテ
ひぐらし 蚋蜩
楽里君 まこ朝ニ生テ夕ニ死ストヽ
夏の蝉 古今集真名序 春鶯
こわうとうなのごとり秋蝉こわうとわさ
ノりとうなきより黙ハるの蝉ニよ
ひべきと一説 ゆふべの夕をまつゝゐと
うたいけるゆへの蝉ときこしよは
こゝも彼可考 四季
中なの一ときこゝろえて四季ともに
こまるにふかくふかくふかくふかくふかく
ひゝくぐと一年ヒ
一ときまるとうまゝ越ることなく
のごとくなく 無越ヒ
かこのおのれ 今日かくれん耶ヒ
荘子大地ノ篇ニ 寿 多 耶トあるヒ是ニよる
四十にして 老ノ狗かヒ是より次ニ四ニ衰ノ姿ヒ見ヘ

人よいく 論語 及其老也血気既衰
戒之 在得 ゆゝこゝ物ヒ堪忍ある
ことも老ていよ〳〵ひがみ〳〵武子門墾
むのをよたをかゝるひなり〳〵
ふかうるとのようりぞする
ろ欲 よはゞず 此段前ニこゝまでの男
ハいとゞ〳〵くこゝて下心ハひくこま
ゝれるからそ戒をふかめより
礼記礼運ニ飲食男女人之大欲存焉
程伊川曰淫声美色ハ易感人ヲ
ひゝゆくこゝろをとゞめんまでどなゆんわほこ
むとゝろふかくまでわれもこゝろ
こゝろく 河海ニ凡ノ字をヨメリこゝろく
戒物わるこゝろハ河のもの 久米仙人
和州ノ一ノ郡ノ人也ト山ニ学仙法一食松
葉 服茯苓一祖 騰空飛遇故里
會婦人ノ洗足 踏洗衣 其脛甚白忽
生深心 即時墜落 元亨ヨ人書
えぎ 足のこゝのくかり

こしあぶら 詩經 膏如二凝脂一

ほとゝぎす 人の心愚なることうたをよく人の体をよく通を美さまた世の人の匂ひを心をまどはすことたをよく果意色にハ迷ひやすし

女八髪の 昔有仍氏女髪黒而美光可レ鑑名曰玄妻○文選西京賦衛后嚢於髪髪髪飛燕寵於躰輕

けしき 気形勢景気物ごと

物ごとに 執着

ねぢ 狼のごとく

六塵 眼耳鼻舌身意と六根う色声香味觸法ノ六塵と云此六塵ハ此方ノ六根ノ觸に処て本心をけがす古聖いわまでも志のあく人ハ散離そう事の肝一

大ゑ 大成徳陀羅尼経ニ云ノ至極人

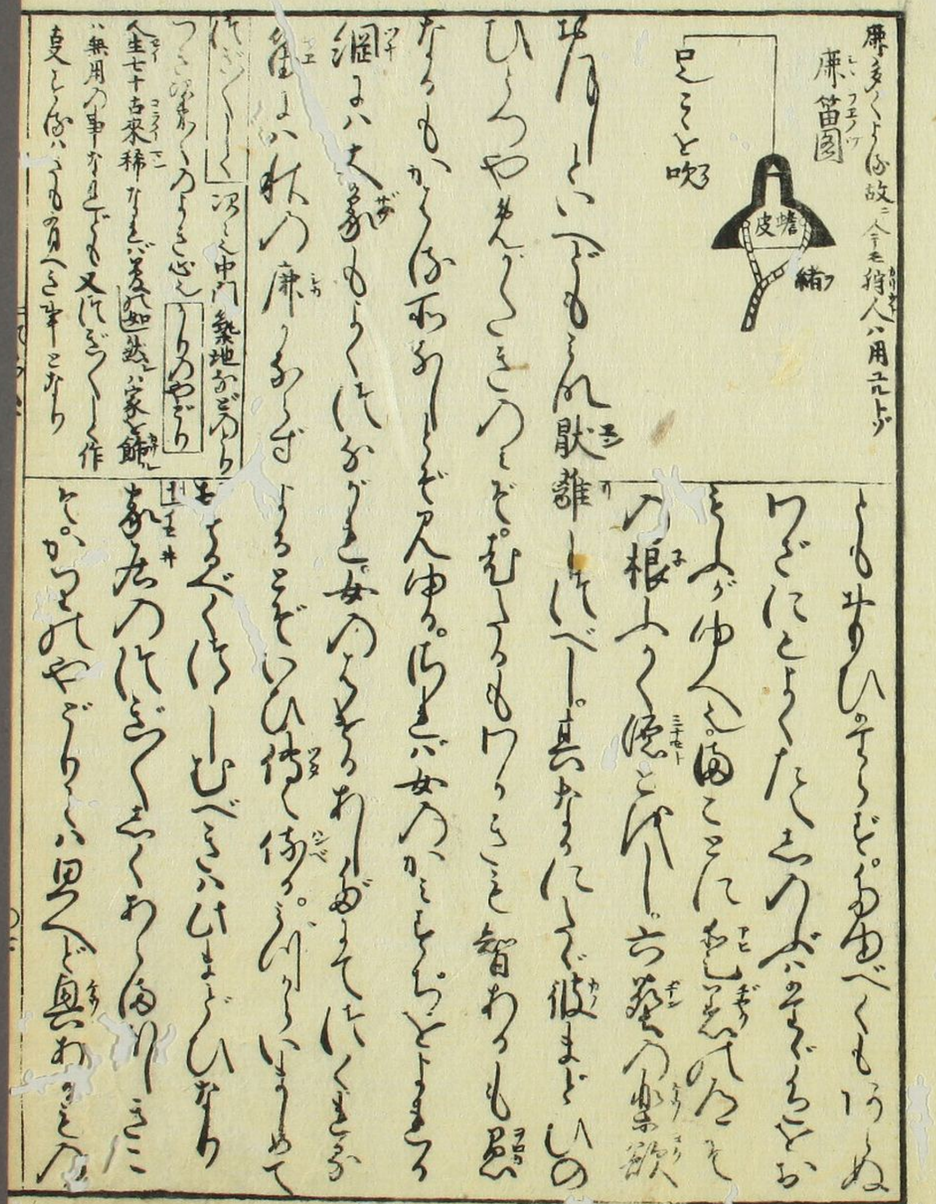
髪ゑ 髪作綱維香象能繋云々

作笛 女ノ役ニ作レ笛ニ必ス常ヨリハ

足ことに吹

廉多くよりて故ニ人ニ狩人ハ用ニルトゾ

廉笛圖



寛清法名仏位後改西行ト号ス
院北面ノ[綾小路宮]紹運録ニ性恵法
親王亀山第十三ノ子妙法院ノ門主ノ
[小坂殿]後小路ノ二条住ヲヨミ所ノ
名ナヘトカノヨウナリ
ありかたき

ノ寝所(ネドコロ)ヲ(二十巻本堂室ノ)
ヨヒ(ヨビ)ノクラウン行ク
ところハヨラヒラヒなる
小坂殿(コサカドノ)棟(ムネ)ヨリ縄(ナワ)ヲヒキワタシカノ
ヨウナ後落(アトヲチ)ノ
ヤハナラヒ(カヘシ)ヨ(ヨミ)人(ビト)ノ(群書)
ナヲ(ナホ)ヒラヒラ
(宮ノ心有雅キ仁ノ端顕ト云ヲ感心スルナリ)
ヲヒ(ヲビ)ヨ(ヨミ)ヒラヒ(ヒロ)ヒ(ヒロ)
△此事ヲ見ル人ノ思ヒ(オモヒ)ヤル(ヤラル)
心(ココロ)ノ(ノウ)ヒ(ヒロ)ヒ(ヒロ)ガタキ事ヲ云ヘリ諸事(モロゴト)ヒ(ヒロ)ロ(ロウ)ガリ(カラ)ヌ(ヌル)ハ悪キト云ヘリ

ヤハナラヒ(カヘシ)ヨ(ヨミ)人(ビト)ノ(群書)
ナヲ(ナホ)ヒラヒラ
(宮ノ心有雅キ仁ノ端顕ト云ヲ感心スルナリ)
ヲヒ(ヲビ)ヨ(ヨミ)ヒラヒ(ヒロ)ヒ(ヒロ)
△此事ヲ見ル人ノ思ヒ(オモヒ)ヤル(ヤラル)
心(ココロ)ノ(ノウ)ヒ(ヒロ)ヒ(ヒロ)ガタキ事ヲ云ヘリ諸事(モロゴト)ヒ(ヒロ)ロ(ロウ)ガリ(カラ)ヌ(ヌル)ハ悪キト云ヘリ

神名月(カンナツキ)ノ(ノウ)
事(コト)ハシ(ハジ)ヨ(ヨミ)
[栗栖野]山城国醍醐ノ辺ナリ
万葉ニ(ニウ)ヨ(ヨミ)ル(ル)ヒ(ヒロ)トヒ(ヒロ)トヒ(ヒロ)ノ(ノウ)
ヲ(ヲビ)ナ(ナホ)ン(ン)ヒ(ヒロ)ロ(ロウ)ヒ(ヒロ)ロ(ロウ)ヒ(ヒロ)ロ(ロウ

同じ心なり　此段ハ次ノ段ヲ引キ下テ書出タリ論語ニ子曰吾与回言終日不違如愚ガうらなく　表裏もなく（まごころのまま）

（向ノ人今ノ心ノモノガタリハ）

（交ヲ求ムル段ニ聞ト説ベクメナルニヨツテカニヲテヒトヘ）

（向ノさこゝハ我ヲニ許ス我ヲこゝロヨシトスルヲ）

（我トヒトシキヲ見テモソノカヒヲスルヲ）

（世上のさまざまのことも生死無常のコトハリヲモ）

（向ノさこゝハ向心ノあるヲ）

（我ハヒトリ九心ナルヲ）

（向ノ人ノ心ノモノガタリヲ）

（ソノ人ノ詞ヲ）

（ソノ人ノ心ヲ）

（ソノ人ノ心ヲ）

（ソノ人ノ心

いひつゝ
かなでもそれにこゝろをやるにこそ
やまとだましひなどいふ物なるべし
[貫之] 孝元天皇之御末紀望行子或文
輟子猶委土佐ノ日記ニ古今ノ序ニ
ゑにかきたるものゝ
よに栄えて
[古今集] 延喜五年紀友則 貫之
忠岑 躬恒ら撰ス
[新古今] 元久二年ニ依後鳥羽院勅ニ
定家 家隆 有家 通具 撰ス
[続後撰] 祝部成仲
[家長日記] 後鳥羽院ノ時人和哥所ノ雑
[報議判] 和哥所ニ寄合テ判ジ批判ヲトラスル

り神樂催馬樂の歌ものと記と野趣
ある羽ぶりの作とわろし誤り
喜文類聚續集ニ善歌者有虞公發
声動梁塵ト古事ニより起まり

鄙曲　鄙ハ楚ノ都より文選ニモ有歌鄙中
者ト云リ仕故支ト云ヘリ　口ずさみ

いにしえうたの類　此段器物の中ニ
人のこゝろをやはらとやはす
歌の事

もろの言種すべてうたぞといふ
ことの本なり　真菰かる蜑の
こゝろをよめるもおなじ
ことぞかし　都ぶりもてはやす
なでいひやりしもおのづから
そゝろごとにおかしきひゝなる
ふしもあるべし

琴　法進曰漢武帝時丁仲所造下ニ

篳篥　通典ニ云本名悲觱發出於胡中
其聲悲觱發也河百有五部名ニ

笛　法進曰漢武帝時丁仲所造下ニ

篳篥　通典ニ云本名悲觱發出於胡中
其聲悲觱發也河百有五部名ニ

和琴　あづまごとゝも青神代六弦
とあるべし　日本紀ニ天の岩戸ニこもりたまひし
樂器頭ト河海抄ニ伊弉諾ノ尊ノ
時令作ト云ヘリ

神樂　神樂ニ庭燎ト篝火ト
庭燎ハ大ニ篝火ハ小ニ

神樂ニ庭燎ト篝火ト
庭燎ハ大ニ篝火ハ小ニ

神樂　此段次第ニ言葉をやはらげ
神代ニ天照大神天の岩戸ニこもりたまひし
天の鈿女命まさきのかづらたすきかけ
ておもしろく舞たまひしなどいひて
あまたの人も常よりはおもしろ
くとりどりに舞たまひしとぞ

調度　よろづの調度まで
[よろづのうたひものゝ
ことぞ]

寺社　かゝる人も
[神樂ニ色々の
[優なるところ]]
寺社にまゐりて
奉納のものなり

藝能　藝能のある人も同じ

調度　よろづの調度ニ
[よろづのうたひものゝ
ことぞ]

寺社　かゝる人も
[神樂ニ色々の
[優なるところ]]
寺社にまゐりて
奉納のものなり

笛　法進曰漢武帝時丁仲所造下ニ

篳篥　通典ニ云本名悲觱發出於胡中
其聲悲觱發也河百有五部名ニ

和琴　あづまごとゝも青神代六弦
とあるべし　日本紀ニ天の岩戸ニこもりたまひし
樂器頭ト河海抄ニ伊弉諾ノ尊ノ
時令作ト云ヘリ

神樂　神樂ニ庭燎ト篝火ト
庭燎ハ大ニ篝火ハ小ニ

神樂　此段次第ニ言葉をやはらげ
神代ニ天照大神天の岩戸ニこもりたまひし
天の鈿女命まさきのかづらたすきかけ
ておもしろく舞たまひしなどいひて
あまたの人も常よりはおもしろ
くとりどりに舞たまひしとぞ

調度　よろづの調度まで
[よろづのうたひものゝ
ことぞ]

寺社　かゝる人も
[神樂ニ色々の
[優なるところ]]
寺社にまゐりて
奉納のものなり

藝能　藝能のある人も同じ

[illegible]得以取[illegible]眠々乱[illegible]樹上[illegible]凡吹[illegible]
歴々作声尚以為煩[illegible]逐去之矣

かりがねこ　奈利加祢古　[係最]　蒙未詳　元公家負織廂[illegible]業明詩書[illegible]京兆切曹冬月無被有葉一束暮則朝収

こまろ〳〵　[illegible]

[illegible]

うつゝにてそのかみ[illegible]
[illegible]

[illegible]

[illegible]

うちてしうとこひうるやとや

四月八日 佛生會 云云

祭の比 四月中酉日 加茂の四所の日のごと

年中行事に云欽明天皇の四年四月の酉の日供の進物同じきにより其日を吉日とうち定めしとぞ

灌佛 年中行事合註 佛の生まれ給ひしとき天竜下つてあまたたびそゝぎ給ふとやこれを例として今も百寮上達部より始め佛のあわをまいらせ推古帝

うち始め 四月八日 佛生會 云云

祭の比 四月中酉日 加茂の四所の日のごと

年中行事に云欽明天皇の四年四月の酉の日供の進物同じきにより其日を吉日とうち定めしとぞ

灌佛 年中行事合註 佛の生まれ給ひしとき天竜下つてあまたたびそゝぎ給ふとやこれを例として今も百寮上達部より始め佛のあわをまいらせ推古帝

そのあまたも人の多さ 花ちり梢のうすみどりになりまさるころ

人のなさけもうすくなるやうにおぼゆるを

五月あやめふく

於波云五月四日主殿寮菖蒲 内裏殿舎菖蒲 又弘仁十三年五月三日平且 菖蒲艾花なと南

そのあまたも人の多さ 花ちり梢のうすみどりになりまさるころ

人のなさけもうすくなるやうにおぼゆるを

五月あやめふく

於波云五月四日主殿寮菖蒲 内裏殿舎菖蒲 又弘仁十三年五月三日平且 菖蒲艾花なと南

殿のおとどこわり公事根源に見エ
早苗さなへ
をうゑそめてやう〳〵そよぎ初るこそ
いとめづらかなるものなれ
六月みなづき
水河百首抄に悪神とあり
ひる夜よるの秡とて二方に菜和韓秡
荻に納涼又季吟の庭訓
七夕たなばた
乞巧奠きこうでん
乞巧奠ここうでん公事根源に庭上
ここちよきもとゝもに机四脚とりならべ
ことゝとゝとゝもとゝ机のうへもとゝ
もとゝ
ごせもの
星ほしつと天平勝宝七年より始
京師けいし
京師けいし
京師けいし

深草 仁明天皇在 嘉祥寺内 後田原 光孝天皇在仁和寺内 北タ 宇治
後山階 醍醐 天皇在醍醐寺 最多四雅堂ニ五ヲ
贈皇太后宮 藤徳子 中宇治 贈皇太后宮 安子 今宇治
贈皇太后 宮茂子 ○八墓 タノ 多武峯 鎌足 淡海公 オ淡海公
アタゴ 愛宕護 贈太政大臣 忠仁公 葛野 カドノ 贈太政大臣
仲野 親王 後葛野 贈正二位 當田宗氏 宇治 贈正二位 船宣公
小野 贈太政大臣正二位 藤原高藤公 後小野 贈正二位 宣道氏
後宇治 贈正一位皇太后 班子仲野 親王女

あくれなやどになることを 公事ごとにも三ぎく 禁中にいとからうまつりたまひてとしごろ
心月の四日とごりかうぶりて 近衛 十二月晦日に年中行事歌合註云追儺と年中の
疫とをはらひやぶるやひろ源氏あやうよなど俗にも儺とやらふてはらふをとをそれ
をそれ作物のうちにこくわと財とをうつしてとうじの方相氏四目わらひをなしてとそ
なるよ楯矛とらせたまひて平てひろ門とうごかすこと三年とりつぐ

いそなよ物なまこ 佛名 ノ 名香の仏
これなごそわくれよやんごとなこと
公事ごともとぐくまのいそぎにこ
ついうてそもりおこなふ
うまごとうや 追儺 四方拝
よひぐくそみりつもれ川こうら吸
いうそうよふれどもこうてあまを
ぐほまで人の門あしてうつをわりこ
くわ事よりあんとうぐこく
つてわとそにまごくへが聞うこうら
葵をかけそれぐまそれぐまそれぐま

古今集に「そのかみ」古今集に「そのかみやこ」

やこいにしへの人なれや

ゆきかふ空の名残さへ

なつかしきは

[二オ]

[二ウ]

[三オ]

[三ウ]

[四オ]

[四ウ]

[五オ]

[五ウ]

[六オ]

[六ウ]

[七オ]

[七ウ]

[八オ]

[八ウ]

[九オ]

[九ウ]

[十オ]

[十ウ]

[十一オ]

[十一ウ]

[十二オ]

[十二ウ]

[十三オ]

[十三ウ]

[十四オ]

[十四ウ]

[十五オ]

[十五ウ]

[十六オ]

[十六ウ]

[十七オ]

[十七ウ]

[十八オ]

[十八ウ]

[十九オ]

[十九ウ]

[二十オ]

[二十ウ]

[二十一オ]

[二十一ウ]

[二十二オ]

[二十二ウ]

[二十三オ]

[二十三ウ]

[二十四オ]

[二十四ウ]

[二十五オ]

[二十五ウ]

[二十六オ]

[二十六ウ]

[二十七オ]

[二十七ウ]

[二十八オ]

[二十八ウ]

[二十九オ]

[二十九ウ]

[三十オ]

[三十ウ]

[三十一オ]

[三十一ウ]

[三十二オ]

[三十二ウ]

[三十三オ]

[三十三ウ]

[三十四オ]

[三十四ウ]

[三十五オ]

[三十五ウ]

[三十六オ]

[三十六ウ]

[三十七オ]

[三十七ウ]

[三十八オ]

[三十八ウ]

[三十九オ]

[三十九ウ]

[四十オ]

[四十ウ]

[四十一オ]

[四十一ウ]

[四十二オ]

[四十二ウ]

[四十三オ]

[四十三ウ]

[四十四オ]

[四十四ウ]

[四十五オ]

[四十五ウ]

[四十六オ]

[四十六ウ]

[四十七オ]

[四十七ウ]

[四十八オ]

[四十八ウ]

[四十九オ]

[四十九ウ]

[五十オ]

[五十ウ]

[五十一オ]

[五十一ウ]

[五十二オ]

[五十二ウ]

[五十三オ]

[五十三ウ]

[五十四オ]

[五十四ウ]

[五十五オ]

[五十五ウ]

[五十六オ]

[五十六ウ]

[五十七オ]

[五十七ウ]

[五十八オ]

[五十八ウ]

[五十九オ]

[五十九ウ]

[六十オ]

[六十ウ]

[六十一オ]

[六十一ウ]

[六十二オ]

[六十二ウ]

[六十三オ]

[六十三ウ]

[六十四オ]

[六十四ウ]

[六十五オ]

[六十五ウ]

[六十六オ]

[六十六ウ]

[六十七オ]

[六十七ウ]

[六十八オ]

[六十八ウ]

[六十九オ]

[六十九ウ]

[七十オ]

[七十ウ]

[七十一オ]

[七十一ウ]

[七十二オ]

[七十二ウ]

[七十三オ]

[七十三ウ]

[七十四オ]

[七十四ウ]

[七十五オ]

[七十五ウ]

[七十六オ]

[七十六ウ]

[七十七オ]

[七十七ウ]

[七十八オ]

[七十八ウ]

[七十九オ]

[七十九ウ]

[八十オ]

[八十ウ]

[八十一オ]

[八十一ウ]

[八十二オ]

[八十二ウ]

[八十三オ]

[八十三ウ]

[八十四オ]

[八十四ウ]

[八十五オ]

[八十五ウ]

[八十六オ]

[八十六ウ]

[八十七オ]

[八十七ウ]

[八十八オ]

[八十八ウ]

[八十九オ]

[八十九ウ]

[九十オ]

[九十ウ]

[九十一オ]

[九十一ウ]

[九十二オ]

[九十二ウ]

[九十三オ]

[九十三ウ]

[九十四オ]

[九十四ウ]

[九十五オ]

[九十五ウ]

[九十六オ]

[九十六ウ]

[九十七オ]

[九十七ウ]

[九十八オ]

[九十八ウ]

[九十九オ]

[九十九ウ]

[百オ]

[百ウ]

[百一オ]

[百一ウ]

[百二オ]

[百二ウ]

[百三オ]

[百三ウ]

[百四オ]

[百四ウ]

[百五オ]

[百五ウ]

[百六オ]

[百六ウ]

[百七オ]

[百七ウ]

[百八オ]

[百八ウ]

[百九オ]

[百九ウ]

[百十オ]

[百十ウ]

[百十一オ]

[百十一ウ]

[百十二オ]

[百十二ウ]

[百十三オ]

[百十三ウ]

[百十四オ]

[百十四ウ]

[百十五オ]

[百十五ウ]

[百十六オ]

[百十六ウ]

[百十七オ]

[百十七ウ]

[百十八オ]

[百十八ウ]

[百十九オ]

[百十九ウ]

[百二十オ]

[百二十ウ]

[百二十一オ]

[百二十一ウ]

[百二十二オ]

[百二十二ウ]

[百二十三オ]

[百二十三ウ]

[百二十四オ]

[百二十四ウ]

[百二十五オ]

[百二十五ウ]

[百二十六オ]

[百二十六ウ]

[百二十七オ]

[百二十七ウ]

[百二十八オ]

[百二十八ウ]

[百二十九オ]

[百二十九ウ]

[百三十オ]

[百三十ウ]

[百三十一オ]

[百三十一ウ]

[百三十二オ]

[百三十二ウ]

[百三十三オ]

[百三十三ウ]

[百三十四オ]

[百三十四ウ]

[百三十五オ]

[百三十五ウ]

[百三十六オ]

[百三十六ウ]

[百三十七オ]

[百三十七ウ]

[百三十八オ]

[百三十八ウ]

[百三十九オ]

[百三十九ウ]

[百四十オ]

[百四十ウ]

[百四十一オ]

[百四十一ウ]

[百四十二オ]

[百四十二ウ]

[百四十三オ]

[百四十三ウ]

[百四十四オ]

[百四十四ウ]

[百四十五オ]

[百四十五ウ]

[百四十六オ]

[百四十六ウ]

[百四十七オ]

[百四十七ウ]

[百四十八オ]

[百四十八ウ]

[百四十九オ]

[百四十九ウ]

[百五十オ]

[百五十ウ]

[百五十一オ]

[百五十一ウ]

[百五十二オ]

[百五十二ウ]

[百五十三オ]

[百五十三ウ]

[百五十四オ]

[百五十四ウ]

[百五十五オ]

[百五十五ウ]

[百五十六オ]

[百五十六ウ]

[百五十七オ]

[百五十七ウ]

[百五十八オ]

[百五十八ウ]

[百五十九オ]

[百五十九ウ]

[百六十オ]

[百六十ウ]

[百六十一オ]

[百六十一ウ]

[百六十二オ]

[百六十二ウ]

[百六十三オ]

[百六十三ウ]

[百六十四オ]

[百六十四ウ]

[百六十五オ]

[百六十五ウ]

[百六十六オ]

[百六十六ウ]

[百六十七オ]

[百六十七ウ]

[百六十八オ]

[百六十八ウ]

[百六十九オ]

[百六十九ウ]

[百七十オ]

[百七十ウ]

[百七十一オ]

[百七十一ウ]

[百七十二オ]

[百七十二ウ]

[百七十三オ]

[百七十三ウ]

[百七十四オ]

[百七十四ウ]

[百七十五オ]

[百七十五ウ]

[百七十六オ]

[百七十六ウ]

[百七十七オ]

[百七十七ウ]

[百七十八オ]

[百七十八ウ]

[百七十九オ]

[百七十九ウ]

[百八十オ]

[百八十ウ]

[百八十一オ]

[百八十一ウ]

[百八十二オ]

[百八十二ウ]

[百八十三オ]

[百八十三ウ]

[百八十四オ]

[百八十四ウ]

[百八十五オ]

[百八十五ウ]

[百八十六オ]

[百八十六ウ]

[百八十七オ]

[百八十七ウ]

[百八十八オ]

[百八十八ウ]

[百八十九オ]

[百八十九ウ]

[百九十オ]

[百九十ウ]

[百九十一オ]

[百九十一ウ]

[百九十二オ]

[百九十二ウ]

[百九十三オ]

[百九十三ウ]

[百九十四オ]

[百九十四ウ]

[百九十五オ]

[百九十五ウ]

[百九十六オ]

[百九十六ウ]

[百九十七オ]

[百九十七ウ]

[百九十八オ]

[百九十八ウ]

[百九十九オ]

[百九十九ウ]

[二百オ]

[二百ウ]

[二百一オ]

[二百一ウ]

[二百二オ]

[二百二ウ]

[二百三オ]

[二百三ウ]

[二百四オ]

[二百四ウ]

[二百五オ]

[二百五ウ]

[二百六オ]

[二百六ウ]

[二百七オ]

[二百七ウ]

[二百八オ]

[二百八ウ]

[二百九オ]

[二百九ウ]

[二百十オ]

[二百十ウ]

[二百十一オ]

[二百十一ウ]

[二百十二オ]

[二百十二ウ]

[二百十三オ]

[二百十三ウ]

[二百十四オ]

[二百十四ウ]

[二百十五オ]

[二百十五ウ]

[二百十六オ]

[二百十六ウ]

[二百十七オ]

[二百十七ウ]

[二百十八オ]

[二百十八ウ]

[二百十九オ]

[二百十九ウ]

[二百二十オ]

[二百二十ウ]

[二百二十一オ]

[二百二十一ウ]

[二百二十二オ]

[二百二十二ウ]

[二百二十三オ]

[二百二十三ウ]

[二百二十四オ]

[二百二十四ウ]

[二百二十五オ]

[二百二十五ウ]

[二百二十六オ]

[二百二十六ウ]

[二百二十七オ]

[二百二十七ウ]

[二百二十八オ]

[二百二十八ウ]

[二百二十九オ]

[二百二十九ウ]

[二百三十オ]

[二百三十ウ]

[二百三十一オ]

[二百三十一ウ]

[二百三十二オ]

[二百三十二ウ]

[二百三十三オ]

[二百三十三ウ]

[二百三十四オ]

[二百三十四ウ]

[二百三十五オ]

[二百三十五ウ]

[二百三十六オ]

[二百三十六ウ]

[二百三十七オ]

[二百三十七ウ]

[二百三十八オ]

[二百三十八ウ]

[二百三十九オ]

[二百三十九ウ]

[二百四十オ]

[二百四十ウ]

[二百四十一オ]

[二百四十一ウ]

[二百四十二オ]

[二百四十二ウ]

[二百四十三オ]

[二百四十三ウ]

[二百四十四オ]

[二百四十四ウ]

[二百四十五オ]

[二百四十五ウ]

[二百四十六オ]

[二百四十六ウ]

[二百四十七オ]

[二百四十七ウ]

[二百四十八オ]

[二百四十八ウ]

[二百四十九オ]

[二百四十九ウ]

[二百五十オ]

[二百五十ウ]

[二百五十一オ]

[二百五十一ウ]

[二百五十二オ]

[二百五十二ウ]

[二百五十三オ]

[二百五十三ウ]

[二百五十四オ]

[二百五十四ウ]

[二百五十五オ]

[二百五十五ウ]

[二百五十六オ]

[二百五十六ウ]

[二百五十七オ]

[二百五十七ウ]

[二百五十八オ]

[二百五十八ウ]

[二百五十九オ]

[二百五十九ウ]

[二百六十オ]

[二百六十ウ]

[二百六十一オ]

[二百六十一ウ]

[二百六十二オ]

[二百六十二ウ]

[二百六十三オ]

[二百六十三ウ]

[二百六十四オ]

[二百六十四ウ]

[二百六十五オ]

[二百六十五ウ]

[二百六十六オ]

[二百六十六ウ]

[二百六十七オ]

[二百六十七ウ]

[二百六十八オ]

[二百六十八ウ]

[二百六十九オ]

[二百六十九ウ]

[二百七十オ]

[二百七十ウ]

[二百七十一オ]

[二百七十一ウ]

[二百七十二オ]

[二百七十二ウ]

[二百七十三オ]

[二百七十三ウ]

[二百七十四オ]

[二百七十四ウ]

[二百七十五オ]

[二百七十五ウ]

[二百七十六オ]

[二百七十六ウ]

[二百七十七オ]

[二百七十七ウ]

[二百七十八オ]

[二百七十八ウ]

[二百七十九オ]

[二百七十九ウ]

[二百八十オ]

[二百八十ウ]

[二百八十一オ]

[二百八十一ウ]

[二百八十二オ]

[二百八十二ウ]

[二百八十三オ]

[二百八十三ウ]

[二百八十四オ]

[二百八十四ウ]

[二百八十五オ]

[二百八十五ウ]

[二百八十六オ]

[二百八十六ウ]

[二百八十七オ]

[二百八十七ウ]

[二百八十八オ]

[二百八十八ウ]

[二百八十九オ]

[二百八十九ウ]

[二百九十オ]

[二百九十ウ]

[二百九十一オ]

[二百九十一ウ]

[二百九十二オ]

[二百九十二ウ]

[二百九十三オ]

[二百九十三ウ]

[二百九十四オ]

[二百九十四ウ]

[二百九十五オ]

[二百九十五ウ]

[二百九十六オ]

[二百九十六ウ]

[二百九十七オ]

[二百九十七ウ]

[二百九十八オ]

[二百九十八ウ]

[二百九十九オ]

[二百九十九ウ]

[三百オ]

[三百ウ]

[三百一オ]

[三百一ウ]

[三百二オ]

[三百二ウ]

[三百三オ]

[三百三ウ]

[三百四オ]

[三百四ウ]

[三百五オ]

[三百五ウ]

[三百六オ]

[三百六ウ]

[三百七オ]

[三百七ウ]

[三百八オ]

[三百八ウ]

[三百九オ]

[三百九ウ]

[三百十オ]

[三百十ウ]

[三百十一オ]

[三百十一ウ]

[三百十二オ]

[三百十二ウ]

[三百十三オ]

[三百十三ウ]

[三百十四オ]

[三百十四ウ]

[三百十五オ]

[三百十五ウ]

[三百十六オ]

[三百十六ウ]

[三百十七オ]

[三百十七ウ]

[三百十八オ]

[三百十八ウ]

[三百十九オ]

[三百十九ウ]

[三百二十オ]

[三百二十ウ]

[三百二十一オ]

[三百二十一ウ]

[三百二十二オ]

[三百二十二ウ]

[三百二十三オ]

[三百二十三ウ]

[三百二十四オ]

[三百二十四ウ]

[三百二十五オ]

[三百二十五ウ]

[三百二十六オ]

[三百二十六ウ]

[三百二十七オ]

[三百二十七ウ]

[三百二十八オ]

[三百二十八ウ]

[三百二十九オ]

[三百二十九ウ]

[三百三十オ]

[三百三十ウ]

[三百三十一オ]

[三百三十一ウ]

[三百三十二オ]

[三百三十二ウ]

[三百三十三オ]

[三百三十三ウ]

[三百三十四オ]

[三百三十四ウ]

[三百三十五オ]

[三百三十五ウ]

[三百三十六オ]

[三百三十六ウ]

[三百三十七オ]

[三百三十七ウ]

[三百三十八オ]

[三百三十八ウ]

[三百三十九オ]

[三百三十九ウ]

[三百四十オ]

[三百四十ウ]

[三百四十一オ]

[三百四十一ウ]

[三百四十二オ]

[三百四十二ウ]

[三百四十三オ]

[三百四十三ウ]

[三百四十四オ]

[三百四十四ウ]

[三百四十五オ]

[三百四十五ウ]

[三百四十六オ]

[三百四十六ウ]

[三百四十七オ]

[三百四十七ウ]

[三百四十八オ]

[三百四十八ウ]

[三百四十九オ]

[三百四十九ウ]

[三百五十オ]

[三百五十ウ]

[三百五十一オ]

[三百五十一ウ]

[三百五十二オ]

[三百五十二ウ]

[三百五十三オ]

[三百五十三ウ]

[三百五十四オ]

[三百五十四ウ]

[三百五十五オ]

[三百五十五ウ]

[三百五十六オ]

[三百五十六ウ]

[三百五十七オ]

[三百五十七ウ]

[三百五十八オ]

[三百五十八ウ]

[三百五十九オ]

[三百五十九ウ]

[三百六十オ]

[三百六十ウ]

[三百六十一オ]

[三百六十一ウ]

[三百六十二オ]

[三百六十二ウ]

[三百六十三オ]

[三百六十三ウ]

[三百六十四オ]

[三百六十四ウ]

[三百六十五オ]

[三百六十五ウ]

[三百六十六オ]

[三百六十六ウ]

[三百六十七オ]

[三百六十七ウ]

[三百六十八オ]

[三百六十八ウ]

[三百六十九オ]

[三百六十九ウ]

[三百七十オ]

[三百七十ウ]

[三百七十一オ]

[三百七十一ウ]

[三百七十二オ]

[三百七十二ウ]

[三百七十三オ]

[三百七十三ウ]

[三百七十四オ]

[三百七十四ウ]

[三百七十五オ]

[三百七十五ウ]

[三百七十六オ]

[三百七十六ウ]

[三百七十七オ]

[三百七十七ウ]

[三百七十八オ]

[三百七十八ウ]

[三百七十九オ]

[三百七十九ウ]

[三百八十オ]

[三百八十ウ]

[三百八十一オ]

[三百八十一ウ]

[三百八十二オ]

[三百八十二ウ]

[三百八十三オ]

[三百八十三ウ]

[三百八十四オ]

[三百八十四ウ]

[三百八十五オ]

[三百八十五ウ]

[三百八十六オ]

[三百八十六ウ]

[三百八十七オ]

[三百八十七ウ]

[三百八十八オ]

[三百八十八ウ]

[三百八十九オ]

[三百八十九ウ]

[三百九十オ]

[三百九十ウ]

[三百九十一オ]

[三百九十一ウ]

[三百九十二オ]

[三百九十二ウ]

[三百九十三オ]

[三百九十三ウ]

[三百九十四オ]

[三百九十四ウ]

[三百九十五オ]

[三百九十五ウ]

[三百九十六オ]

[三百九十六ウ]

[三百九十七オ]

[三百九十七ウ]

[三百九十八オ]

[三百九十八ウ]

[三百九十九オ]

[三百九十九ウ]

[四百オ]

[四百ウ]

[四百一オ]

[四百一ウ]

[四百二オ]

[四百二ウ]

[四百三オ]

[四百三ウ]

[四百四オ]

[四百四ウ]

[四百五オ]

[四百五ウ]

[四百六オ]

[四百六ウ]

[四百七オ]

[四百七ウ]

[四百八オ]

[四百八ウ]

[四百九オ]

[四百九ウ]

[四百十オ]

[四百十ウ]

[四百十一オ]

[四百十一ウ]

[四百十二オ]

[四百十二ウ]

[四百十三オ]

[四百十三ウ]

[四百十四オ]

[四百十四ウ]

[四百十五オ]

[四百十五ウ]

[四百十六オ]

[四百十六ウ]

[四百十七オ]

[四百十七ウ]

[四百十八オ]

[四百十八ウ]

[四百十九オ]

[四百十九ウ]

[四百二十オ]

[四百二十ウ]

[四百二十一オ]

[四百二十一ウ]

[四百二十二オ]

[四百二十二ウ]

[四百二十三オ]

[四百二十三ウ]

[四百二十四オ]

[四百二十四ウ]

[四百二十五オ]

[四百二十五ウ]

[四百二十六オ]

[四百二十六ウ]

[四百二十七オ]

[四百二十七ウ]

[四百二十八オ]

[四百二十八ウ]

[四百二十九オ]

[四百二十九ウ]

[四百三十オ]

[四百三十ウ]

[四百三十一オ]

[四百三十一ウ]

[四百三十二オ]

[四百三十二ウ]

[四百三十三オ]

[四百三十三ウ]

[四百三十四オ]

[四百三十四ウ]

[四百三十五オ]

[四百三十五ウ]

[四百三十六オ]

[四百三十六ウ]

[四百三十七オ]

[四百三十七ウ]

[四百三十八オ]

[四百三十八ウ]

[四百三十九オ]

[四百三十九ウ]

[四百四十オ]

[四百四十ウ]

[四百四十一オ]

[四百四十一ウ]

[四百四十二オ]

[四百四十二ウ]

[四百四十三オ]

[四百四十三ウ]

[四百四十四オ]

[四百四十四ウ]

[四百四十五オ]

[四百四十五ウ]

[四百四十六オ]

[四百四十六ウ]

[四百四十七オ]

[四百四十七ウ]

[四百四十八オ]

[四百四十八ウ]

[四百四十九オ]

[四百四十九ウ]

[四百五十オ]

[四百五十ウ]

[四百五十一オ]

[四百五十一ウ]

[四百五十二オ]

[四百五十二ウ]

[四百五十三オ]

[四百五十三ウ]

[四百五十四オ]

[四百五十四ウ]

[四百五十五オ]

[四百五十五ウ]

[四百五十六オ]

[四百五十六ウ]

[四百五十七オ]

[四百五十七ウ]

[四百五十八オ]

[四百五十八ウ]

[四百五十九オ]

[四百五十九ウ]

[四百六十オ]

[四百六十ウ]

[四百六十一オ]

[四百六十一ウ]

[四百六十二オ]

[四百六十二ウ]

[四百六十三オ]

[四百六十三ウ]

[四百六十四オ]

[四百六十四ウ]

[四百六十五オ]

[四百六十五ウ]

[四百六十六オ]

[四百六十六ウ]

[四百六十七オ]

[四百六十七ウ]

[四百六十八オ]

[四百六十八ウ]

[四百六十九オ]

[四百六十九ウ]

[四百七十オ]

[四百七十ウ]

[四百七十一オ]

[四百七十一ウ]

[四百七十二オ]

[四百七十二ウ]

[四百七十三オ]

[四百七十三ウ]

[四百七十四オ]

[四百七十四ウ]

[四百七十五オ]

[四百七十五ウ]

[四百七十六オ]

[四百七十六ウ]

[四百七十七オ]

[四百七十七ウ]

[四百七十八オ]

[四百七十八ウ]

[四百七十九オ]

[四百七十九ウ]

[四百八十オ]

[四百八十ウ]

[四百八十一オ]

[四百八十一ウ]

[四百八十二オ]

[四百八十二ウ]

[四百八十三オ]

[四百八十三ウ]

[四百八十四オ]

[四百八十四ウ]

[四百八十五オ]

[四百八十五ウ]

[四百八十六オ]

[四百八十六ウ]

[四百八十七オ]

[四百八十七ウ]

[四百八十八オ]

[四百八十八ウ]

[四百八十九オ]

[四百八十九ウ]

[四百九十オ]

[四百九十ウ]

[四百九十一オ]

[四百九十一ウ]

[四百九十二オ]

[四百九十二ウ]

[四百九十三オ]

[四百九十三ウ]

[四百九十四オ]

[四百九十四ウ]

[四百九十五オ]

[四百九十五ウ]

[四百九十六オ]

[四百九十六ウ]

[四百九十七オ]

[四百九十七ウ]

[四百九十八オ]

[四百九十八ウ]

[四百九十九オ]

[四百九十九ウ]

[五百オ]

[五百ウ]

[五百一オ]

[五百一ウ]

[五百二オ]

[五百二ウ]

[五百三オ]

[五百三ウ]

[五百四オ]

[五百四ウ]

[五百五オ]

[五百五ウ]

[五百六オ]

[五百六ウ]

[五百七オ]

[五百七ウ]

[五百八オ]

[五百八ウ]

[五百九オ]

[五百九ウ]

[五百十オ]

[五百十ウ]

[五百十一オ]

[五百十一ウ]

[五百十二オ]

[五百十二ウ]

[五百十三オ]

[五百十三ウ]

[五百十四オ]

[五百十四ウ]

[五百十五オ]

[五百十五ウ]

[五百十六オ]

[五百十六ウ]

[五百十七オ]

[五百十七ウ]

[五百十八オ]

[五百十八ウ]

[五百十九オ]

[五百十九ウ]

[五百二十オ]

[五百二十ウ]

[五百二十一オ]

[五百二十一ウ]

[五百二十二オ]

[五百二十二ウ]

[五百二十三オ]

[五百二十三ウ]

[五百二十四オ]

[五百二十四ウ]

[五百二十五オ]

[五百二十五ウ]

[五百二十六オ]

[五百二十六ウ]

[五百二十七オ]

[五百二十七ウ]

[五百二十八オ]

[五百二十八ウ]

[五百二十九オ]

[五百二十九ウ]

[五百三十オ]

[五百三十ウ]

[五百三十一オ]

[五百三十一ウ]

[五百三十二オ]

[五百三十二ウ]

[五百三十三オ]

[五百三十三ウ]

[五百三十四オ]

[五百三十四ウ]

[五百三十五オ]

[五百三十五ウ]

[五百三十六オ]

[五百三十六ウ]

[五百三十七オ]

[五百三十七ウ]

[五百三十八オ]

[五百三十八ウ]

[五百三十九オ]

[五百三十九ウ]

[五百四十オ]

[五百四十ウ]

[五百四十一オ]

[五百四十一ウ]

[五百四十二オ]

[五百四十二ウ]

[五百四十三オ]

[五百四十三ウ]

[五百四十四オ]

[五百四十四ウ]

[五百四十五オ]

[五百四十五ウ]

[五百四十六オ]

[五百四十六ウ]

[五百四十七オ]

[五百四十七ウ]

[五百四十八オ]

[五百四十八ウ]

[五百四十九オ]

[五百四十九ウ]

[五百五十オ]

[五百五十ウ]

[五百五十一オ]

[五百五十一ウ]

[五百五十二オ]

[五百五十二ウ]

[五百五十三オ]

[五百五十三ウ]

[五百五十四オ]

[五百五十四ウ]

[五百五十五オ]

[五百五十五ウ]

[五百五十六オ]

[五百五十六ウ]

[五百五十七オ]

[五百五十七ウ]

[五百五十八オ]

[五百五十八ウ]

[五百五十九オ]

[五百五十九ウ]

[五百六十オ]

[五百六十ウ]

[五百六十一オ]

[五百六十一ウ]

[五百六十二オ]

[五百六十二ウ]

[五百六十三オ]

[五百六十三ウ]

[五百六十四オ]

[五百六十四ウ]

[五百六十五オ]

[五百六十五ウ]

[五百六十六オ]

[五百六十六ウ]

[五百六十七オ]

[五百六十七ウ]

[五百六十八オ]

[五百六十八ウ]

[五百六十九オ]

[五百六十九ウ]

[五百七十オ]

[五百七十ウ]

[五百七十一オ]

[五百七十一ウ]

[五百七十二オ]

[五百七十二ウ]

[五百七十三オ]

[五百七十三ウ]

[五百七十四オ]

[五百七十四ウ]

[五百七十五オ]

[五百七十五ウ]

[五百七十六オ]

[五百七十六ウ]

[五百七十七オ]

[五百七十七ウ]

[五百七十八オ]

[五百七十八ウ]

[五百七十九オ]

[五百七十九ウ]

[五百八十オ]

[五百八十ウ]

[五百八十一オ]

[五百八十一ウ]

[五百八十二オ]

[五百八十二ウ]

[五百八十三オ]

[五百八十三ウ]

[五百八十四オ]

[五百八十四ウ]

[五百八十五オ]

[五百八十五ウ]

[五百八十六オ]

[五百八十六ウ]

[五百八十七オ]

[五百八十七ウ]

[五百八十八オ]

[五百八十八ウ]

[五百八十九オ]

[五百八十九ウ]

[五百九十オ]

[五百九十ウ]

[五百九十一オ]

[五百九十一ウ]

[五百九十二オ]

[五百九十二ウ]

[五百九十三オ]

[五百九十三ウ]

[五百九十四オ]

[五百九十四ウ]

[五百九十五オ]

[五百九十五ウ]

[五百九十六オ]

[五百九十六ウ]

[五百九十七オ]

[五百九十七ウ]

[五百九十八オ]

[五百九十八ウ]

[五百九十九オ]

[五百九十九ウ]

[六百オ]

[六百ウ]

[六百一オ]

[六百一ウ]

[六百二オ]

[六百二ウ]

[六百三オ]

[六百三ウ]

[六百四オ]

[六百四ウ]

[六百五オ]

[六百五ウ]

[六百六オ]

[六百六ウ]

[六百七オ]

[六百七ウ]

[六百八オ]

[六百八ウ]

[六百九オ]

[六百九ウ]

[六百十オ]

[六百十ウ]

[六百十一オ]

[六百十一ウ]

[六百十二オ]

[六百十二ウ]

[六百十三オ]

[六百十三ウ]

[六百十四オ]

[六百十四ウ]

[六百十五オ]

[六百十五ウ]

[六百十六オ]

[六百十六ウ]

[六百十七オ]

[六百十七ウ]

[六百十八オ]

[六百十八ウ]

[六百十九オ]

[六百十九ウ]

[六百二十オ]

[六百二十ウ]

[六百二十一オ]

[六百二十一ウ]

[六百二十二オ]

[六百二十二ウ]

[六百二十三オ]

[六百二十三ウ]

[六百二十四オ]

[六百二十四ウ]

[六百二十五オ]

[六百二十五ウ]

[六百二十六オ]

[六百二十六ウ]

[六百二十七オ]

[六百二十七ウ]

[六百二十八オ]

[六百二十八ウ]

[六百二十九オ]

[六百二十九ウ]

[六百三十オ]

[六百三十ウ]

[六百三十一オ]

[六百三十一ウ]

[六百三十二オ]

[六百三十二ウ]

[六百三十三オ]

[六百三十三ウ]

[六百三十四オ]

[六百三十四ウ]

[六百三十五オ]

[六百三十五ウ]

[六百三十六オ]

[六百三十六ウ]

[六百三十七オ]

[六百三十七ウ]

[六百三十八オ]

[六百三十八ウ]

[六百三十九オ]

[六百三十九ウ]

[六百四十オ]

[六百四十ウ]

[六百四十一オ]

[六百四十一ウ]

[六百四十二オ]

[六百四十二ウ]

[六百四十三オ]

[六百四十三ウ]

[六百四十四オ]

[六百四十四ウ]

[六百四十五オ]

[六百四十五ウ]

[六百四十六オ]

[六百四十六ウ]

[六百四十七オ]

[六百四十七ウ]

[六百四十八オ]

[六百四十八ウ]

[六百四十九オ]

[六百四十九ウ]

[六百五十オ]

[六百五十ウ]

[六百五十一オ]

[六百五十一ウ]

[六百五十二オ]

[六百五十二ウ]

[六百五十三オ]

[六百五十三ウ]

[六百五十四オ]

[六百五十四ウ]

[六百五十五オ]

[六百五十五ウ]

[六百五十六オ]

[六百五十六ウ]

[六百五十七オ]

[六百五十七ウ]

[六百五十八オ]

[六百五十八ウ]

[六百五十九オ]

[六百五十九ウ]

[六百六十オ]

[六百六十ウ]

[六百六十一オ]

[六百六十一ウ]

[六百六十二オ]

[六百六十二ウ]

[六百六十三オ]

[六百六十三ウ]

[六百六十四オ]

[六百六十四ウ]

[六百六十五オ]

[六百六十五ウ]

[六百六十六オ]

[六百六十六ウ]

[六百六十七オ]

[六百六十七ウ]

[六百六十八オ]

[六百六十八ウ]

[六百六十九オ]

[六百六十九ウ]

[六百七十オ]

[六百七十ウ]

[六百七十一オ]

[六百七十一ウ]

[六百七十二オ]

[六百七十二ウ]

[六百七十三オ]

[六百七十三ウ]

[六百七十四オ]

[六百七十四ウ]

[六百七十五オ]

[六百七十五ウ]

[六百七十六オ]

[六百七十六ウ]

[六百七十七オ]

[六百七十七ウ]

[六百七十八オ]

[六百七十八ウ]

[六百七十九オ]

[六百七十九ウ]

[六百八十オ]

[六百八十ウ]

[六百八十一オ]

[六百八十一ウ]

[六百八十二オ]

[六百八十二ウ]

[六百八十三オ]

[六百八十三ウ]

[六百八十四オ]

[六百八十四ウ]

[六百八十五オ]

[六百八十五ウ]

[六百八十六オ]

[六百八十六ウ]

[六百八十七オ]

[六百八十七ウ]

[六百八十八オ]

[六百八十八ウ]

[六百八十九オ]

[六百八十九ウ]

[六百九十オ]

[六百九十ウ]

[六百九十一オ]

[六百九十一ウ]

[六百九十二オ]

[六百九十二ウ]

[六百九十三オ]

[六百九十三ウ]

[六百九十四オ]

[六百九十四ウ]

[六百九十五オ]

[六百九十五ウ]

[六百九十六オ]

[六百九十六ウ]

[六百九十七オ]

[六百九十七ウ]

[六百九十八オ]

[六百九十八ウ]

[六百九十九オ]

[六百九十九ウ]

[七百オ]

[七百ウ]

[七百一オ]

[七百一ウ]

[七百二オ]

[七百二ウ]

[七百三オ]

[七百三ウ]

[七百四オ]

[七百四ウ]

[七百五オ]

[七百五ウ]

[七百六オ]

[七百六ウ]

[七百七オ]

[七百七ウ]

[七百八オ]

[七百八ウ]

[七百九オ]

[七百九ウ]

[七百十オ]

[七百十ウ]

[七百十一オ]

[七百十一ウ]

[七百十二オ]

[七百十二ウ]

[七百十三オ]

[七百十三ウ]

[七百十四オ]

[七百十四ウ]

[七百十五オ]

[七百十五ウ]

[七百十六オ]

[七百十六ウ]

[七百十七オ]

[七百十七ウ]

[七百十八オ]

[七百十八ウ]

[七百十九オ]

[七百十九ウ]

[七百二十オ]

[七百二十ウ]

[七百二十一オ]

[七百二十一ウ]

[七百二十二オ]

[七百二十二ウ]

[七百二十三オ]

[七百二十三ウ]

[七百二十四オ]

[七百二十四ウ]

[七百二十五オ]

[七百二十五ウ]

[七百二十六オ]

[七百二十六ウ]

[七百二十七オ]

[七百二十七ウ]

[七百二十八オ]

[七百二十八ウ]

[七百二十九オ]

[七百二十九ウ]

[七百三十オ]

[七百三十ウ]

[七百三十一オ]

[七百三十一ウ]

[七百三十二オ]

[七百三十二ウ]

[七百三十三オ]

[七百三十三ウ]

[七百三十四オ]

[七百三十四ウ]

[七百三十五オ]

[七百三十五ウ]

[七百三十六オ]

[七百三十六ウ]

[七百三十七オ]

[七百三十七ウ]

[七百三十八オ]

[七百三十八ウ]

[七百三十九オ]

[七百三十九ウ]

[七百四十オ]

[七百四十ウ]

[七百四十一オ]

[七百四十一ウ]

[七百四十二オ]

[七百四十二ウ]

[七百四十三オ]

[七百四十三ウ]

[七百四十四オ]

[七百四十四ウ]

[七百四十五オ]

[七百四十五ウ]

[七百四十六オ]

[七百四十六ウ]

[七百四十七オ]

[七百四十七ウ]

[七百四十八オ]

[七百四十八ウ]

[七百四十九オ]

[七百四十九ウ]

[七百五十オ]

[七百五十ウ]

[七百五十一オ]

[七百五十一ウ]

[七百五十二オ]

[七百五十二ウ]

[七百五十三オ]

[七百五十三ウ]

[七百五十四オ]

[七百五十四ウ]

[七百五十五オ]

[七百五十五ウ]

[七百五十六オ]

[七百五十六ウ]

[七百五十七オ]

[七百五十七ウ]

[七百五十八オ]

[七百五十八ウ]

[七百五十九オ]

[七百五十九ウ]

[七百六十オ]

[七百六十ウ]

[七百六十一オ]

[七百六十一ウ]

[七百六十二オ]

[七百六十二ウ]

[七百六十三オ]

[七百六十三ウ]

[七百六十四オ]

[七百六十四ウ]

[七百六十五オ]

[七百六十五ウ]

[七百六十六オ]

[七百六十六ウ]

[七百六十七オ]

[七百六十七ウ]

[七百六十八オ]

[七百六十八ウ]

[七百六十九オ]

[七百六十九ウ]

[七百七十オ]

[七百七十ウ]

[七百七十一オ]

[七百七十一ウ]

[七百七十二オ]

[七百七十二ウ]

[七百七十三オ]

[七百七十三ウ]

[七百七十四オ]

[七百七十四ウ]

[七百七十五オ]

[七百七十五ウ]

[七百七十六オ]

[七百七十六ウ]

[七百七十七オ]

[七百七十七ウ]

[七百七十八オ]

[七百七十八ウ]

[七百七十九オ]

[七百七十九ウ]

[七百八十オ]

[七百八十ウ]

[七百八十一オ]

[七百八十一ウ]

[七百八十二オ]

[七百八十二ウ]

[七百八十三オ]

[七百八十三ウ]

[七百八十四オ]

[七百八十四ウ]

[七百八十五オ]

[七百八十五ウ]

[七百八十六オ]

[七百八十六ウ]

[七百八十七オ]

[七百八十七ウ]

[七百八十八オ]

[七百八十八ウ]

[七百八十九オ]

[七百八十九ウ]

[七百九十オ]

[七百九十ウ]

[七百九十一オ]

[七百九十一ウ]

[七百九十二オ]

[七百九十二ウ]

[七百九十三オ]

[七百九十三ウ]

[七百九十四オ]

[七百九十四ウ]

[七百九十五オ]

[七百九十五ウ]

[七百九十六オ]

[七百九十六ウ]

[七百九十七オ]

[七百九十七ウ]

[七百九十八オ]

[七百九十八ウ]

[七百九十九オ]

[七百九十九ウ]

[八百オ]

[八百ウ]

[八百一オ]

[八百一ウ]

[八百二オ]

[八百二ウ]

[八百三オ]

[八百三ウ]

[八百四オ]

[八百四ウ]

[八百五オ]

[八百五ウ]

[八百六オ]

[八百六ウ]

[八百七オ]

[八百七ウ]

[八百八オ]

[八百八ウ]

[八百九オ]

[八百九ウ]

[八百十オ]

[八百十ウ]

[八百十一オ]

[八百十一ウ]

[八百十二オ]

[八百十二ウ]

[八百十三オ]

[八百十三ウ]

[八百十四オ]

[八百十四ウ]

[八百十五オ]

[八百十五ウ]

[八百十六オ]

[八百十六ウ]

[八百十七オ]

[八百十七ウ]

[八百十八オ]

[八百十八ウ]

[八百十九オ]

[八百十九ウ]

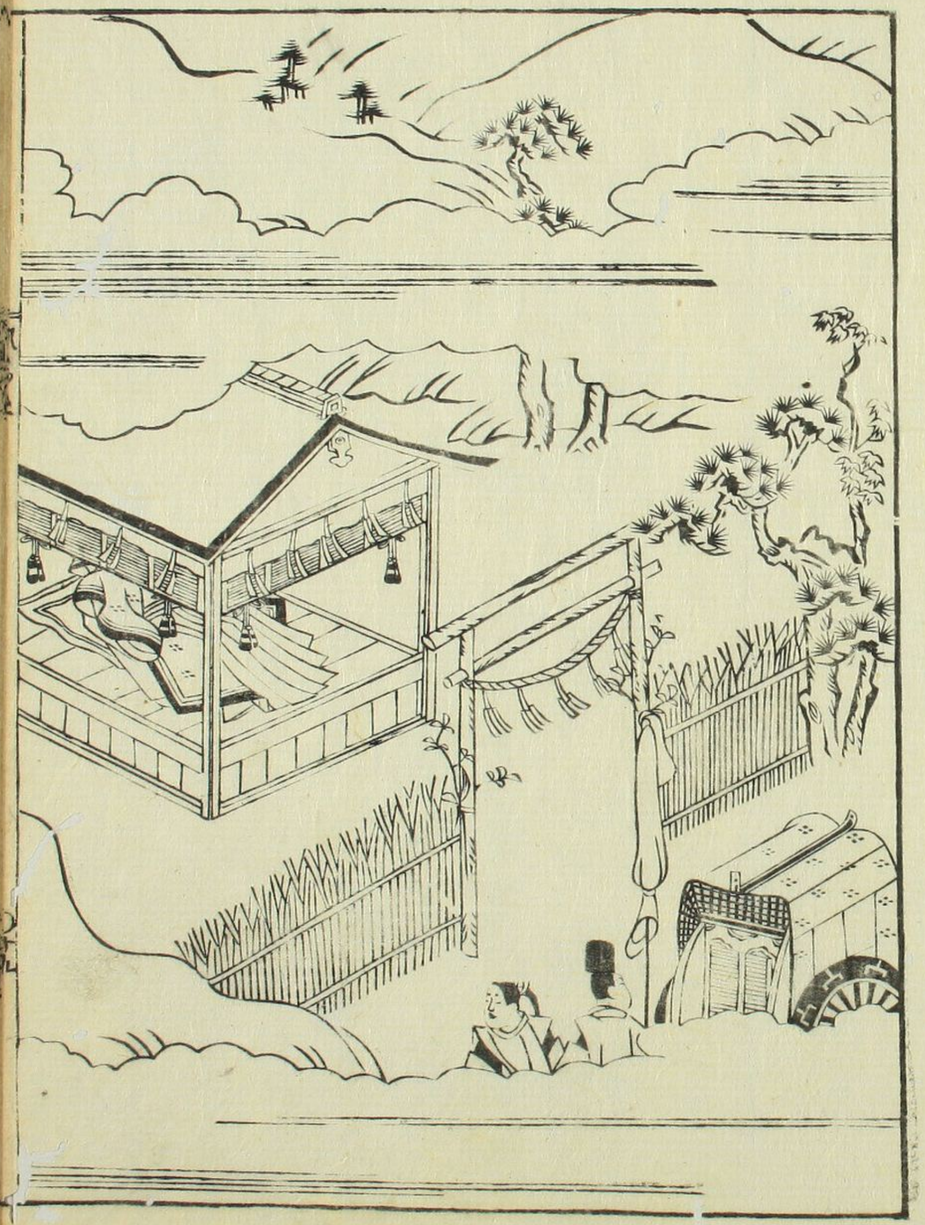
[八百二十オ]

[八百二十ウ]

[八百二十

しやうふ等ト　為の代々も極いや甲
さこかの女の道のくらい」大工蕃匠より
万の芸術文書言語が皆昔のくらべと
いふ「古代のやうに」論語に觚不觚ト孔
子の数息ト時に「久古」反故ト書り
物とすてしうつき紙と云ふのあまり
うと久故堆ト云「車」もとよみ換改ト
いふ心なりこれにかうくにふ
さはしきよふそ「久しくをよふの双考よ
ろさ伺し「主殿寮」職員令に云掌ニ
灯燭松柴炭燎ル事ヲ
人ねぶて」節會行神樂かぐら主上別
殿ニ行幸とさせ給ふ時女王人脂燭ヲ
つとて供奉ル事ハ寮三人ヲ率テ
供奉ともに人数ぞとうふ
くらわん「續松ノ類」松ヲ束ニ炬火ヲ天
阿加久「白くせよ」ト云ふせりふ
最勝講五月吉日とさだめ行ハるゝ
ふ此月の内法ハ東大寺要録ニ
も見る国忌ニ当る依行ハれ公事根

源ニあり○一條院ノ御宇より始ル
「四角の庁」最勝講ノ論義ヲ行ハるゝ
ニ庁ハイホリとよめり最勝王経ハ金光
明経ニ
おほやけまの公此殿前殿ニ人やう
上代ハおほやけまのまいりとそ
ふ今ハ禁中ハかりそめとなりて述
ふ代の凡なるこゝろをいふ「九重」
心なをいふ名の心ハ門ノ数ニより
て名ヲいふ「宣秋門」「建礼門」「遠
郊門」「近郊門」「城門」「皐門」「庫門」
雉門」「應門」「路門」「家天宥」「九重」
うみそひ上人ども常ニ「克く」て勢
ふ心と「世ぢんと」也俗ニ手ぬる
「後涼殿」御殿ノ間ノ名にて御ノ
ニあり五月五節ある時ハ日蔭
蓁の乱菜首ニ「朝餉」清涼殿
ノ内の南ニあり天子ノ朝ノ行儀とす
こゝにて御ありめしまいらせ
ここに御ありこゝハ朝ノ御
ここに御ありこと「小板敷」殿上ノ南面のお
殿上云間有小部「小板敷」殿上ノ南面のお



極ろうろう【遣戸】の神の御前のかり

【陳】ようふんのまくらをも陳の座や

紫宸殿のあつまりを灯の明しせよとて【うつの間】のようふんのまくらをも

【和明殿】天子の御寝所に神鏡宝劔をうつしいつきまつる灯をけさせたまふ

【内侍所】神鏡を【賢所】温明殿ともいふ

【斎宮】内親王を天照太神の祭代に定まるならひ一本に女王とあり伊勢ノ斎宮賀茂ノ斎院ともにしかいつきまつる人代の皇女を神をいつきまつるなり

世に后ともなりやんごとなき【内侍】ともなりこゝろやすく

経佛 延喜式内宮儀式帳云佛中子止云縫手志月 伽弥止云ハ志ト曽ト五百個ノ塔乎阿良々支ト云ハ法師乎髪長止云、優婆塞乎角波須止云、寺手瓦葺止云、齊食乎庁食止云云

多胡 赤多胡ノ幷垣 瑞籬ノ辭リもを

榊 賢木 龍眼木ニ書ルこと

ゆつもり白木

綿し申ぐ こゝもとり

伊勢 内宮 天照皇太神宮 在度會郡宇治 御五十鈴河上 ○外宮 豊受太神宮 在度會郡沼木鄉 山田原ニ 国常立尊 イニ天ノ御中主ノ尊

加茂 別雷神也 天武天皇六年二月鴨 社壇ノ故 條院行幸の時山城国ニ寄進ー 給ニ仍て當国ノ惣社ニて坐ス

○下鴨ハ一條祝園説ニ玉依姫ト戸賀茂建 敲身命ノ女ナリトゝもなり 御祖社ノ別宮神名式ニ縣宮ニアリ

三日 四所明神ニ才一建雍樞命 常陸国鹿嶋才二齊主命下總国香取才三天兒屋 根命 河内国平岡才四姫大神 伊勢太神宮 若宮保延ヨリ以後建 神殿 国源上郡三笠山御蓋跡 平野 五社ノ才一今木ノ神 神護景雲二年正月九日大和国源 日ヲ以テ 源家氏神ニ才二古開神仁徳天皇 平安天皇 源家氏神ニ才三久度神仲哀天皇 才四比賣神 天照大神 才五縣神 大江氏神 才六若子 才三小若子 才四酒解子 山城国葛野郡 仁明天皇

住吉 四座才一座才二座才三座 住吉郡 三論 大物主神ト大和国城上郡 日本国ノ地主ノ神ト貴布祢 水神ト山城国愛宕郡

吉田 四座神名同春日社 貞觀年中ニ 鎮座 山城国愛宕郡 大原野 同春日 仁壽元年二月依 大皇大后御祈 山城国葛野郡 梅宮 四社才一酒解神才二大若子 才三小若子 才四酒解子 山城国葛野郡 松尾 七社才一杉尾社才二月讀社才三櫟谷社 才四三ノ宮才五宗像社才六大神社才七衣手社 延喜式ニ 大山咋神 市杵嶋姫神 山城国葛野郡 太秦 文徳ノ祖母大后橘氏ノ神也

龍鳥 大和国ノ名所 古今ニ伊勢 をのおの行ふけふのわかれ路の 河ハ一の瀬となるなりけり

たゝひとりのみ行ふけふも長恨ノ傳 時移事去樂盡悲來 つゝ二乃業革字 とつゝこゝろ又かへる 野槌 月ニ

桃李物いはず 史記李廣傳贊ニ桃李不言下自成蹊 旨三品詩 桃李不言 春絶音。烟霞無跡昔誰栖

京極殿法成寺 拾芥ニ土御門南京極西 上東門院ニ走之 関白道長公住給ノ所ナリ 法成寺ニ五條河原ニアリ 御堂殿 道長公法名道相好 御堂ノ造立アル故ニ此ノ稱

おもひ川のちせきなかぬ世はしらぬぬしぞ変りたりける

ありあけの月ぞ残れる 社 還ベ

あさぢふのをのゝ篠原 人もまねのつらなかりけり

ぬれもこそ 人わらへなる桃李 ふりぬる身こそ悲しかりけれ

ふるさとの花の色香やむかしにて 業好ノ友ひとりまた春にあはいう色のやん

ぬしなき宿の春ぞ恋しき

之為其可以黒高誇往日悶
其本同而末異つかひ
人百首
初度の撰大納言為忠公
家引歌の心の公家ある
なまよう人の心うて
まねとうろのへ
院御位
とうとう
詩所 三種神宝
雲の叡文章
ナリ内侍所八咫の神鏡トゾ
新院 花園院
朗詠集
ありて
あ
この
ハ主殿寮
栄燈
人の世
かくばかり
布
野廻
又ま
服衣
辛綱
人
つとめ
ぐぐ
殿
今の世の
板
古
布
野廻
又ま
服衣
辛綱
人
つとめ
ぐぐ
殿

中陰 人死して未來生の中間に先五陰の形と降る故に中陰と名付く五陰は色受想行識 亡者追善の七日ごとに仏事をなすこと

諸道具 最後に思ふこと

三十

人のなくてはらぶべきにあらず

中陰 人死して未來生の中間に先五陰の形と降る故に中陰と名付く五陰は色受想行識 亡者追善の七日ごとに仏事をなすこと

諸道具 最後に思ふこと

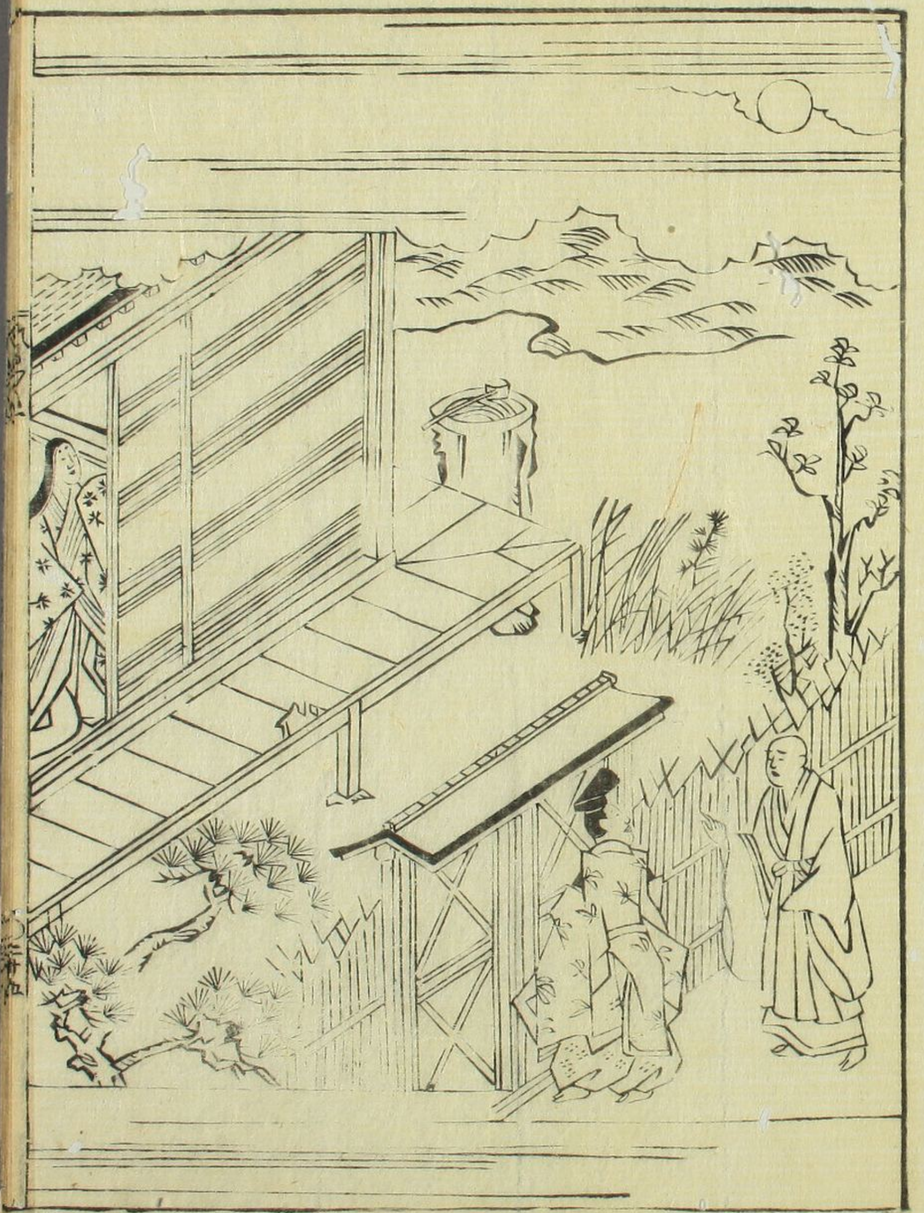
三十

人のなくてはらぶべきにあらず

日本紀 敏達天皇十三年是歳 諸道具 無常物なれば人死去れば皆捨て去る物なり

日本紀 敏達天皇十三年是歳 諸道具 無常物なれば人死去れば皆捨て去る物なり

此云宝塔又云宝墓堵婆此云墳
[illegible]事とそ
月のこと
[illegible]人も
猶[illegible]
[illegible]
[illegible]



やそをこりまうら是ゟ右好
判て右様かくをこりまへ来ん
居ろうんかん心
ゟ
ゟ
ゟ

えこの人く　葉の字の
此段物毎に考ふ付能く見置ハ必ス益
あり事と云

三四　カイカウ
甲香ハ栄螺の蓋
そなどみていくさる

甲香　本草図経云甲香今医家に稀用
但し含香の家に所須　又有大小用小者佳也
可聚　香使不散　武蔵国金澤浦肴を
今澤浦者ハ色ふくりとして一物ニて多名
モチヒハ都て物ノ見置ベキト云前段心同し
ふたのつくり　此段のくだりまで　個々皆
もの、ごとく用ゆ　漢高祖手勅子云毎上疏
冒頭而勿使人ノ下ニ天子の御身ニ自ノ高ク
冒ノ字有ル事ヲ云　其餘ヲヤ畢竟手跡ハ用ノ辨ズルタメニハ
兼筆ノ癖ハ有テモ可ナリトゾ

三五　久しくも信さる　男女中ノ交朋友の実心ニ
うるはしきこゝろざし　仕てやあらひとりかたく
ト部氏にてきこゝろぶとゝりく勾會云磨志

三六　久しくとゞめぬいつゞらう
もゝんく我ことゝ　何ト向ニテモ羽ヲ生ス
云ニ葉なくよろづとゞりく

男の子二十ノ為ニ一説ニ二十以上ノ為ト
白虎通　丁者壮也云ヘリ壮ニシテ人仕者

三七　ねんごろ　取ハも信ぬとう
ふたごゝろ　向ふ人を向ふより行ふをかくす
信と偽りとぶかうとの心ぐ相とゞこほりて
中絶とゝのふるを能　賢き女ノ子ニ男の百以
ねんごろ　ねんごろ云ヘリ　男ノ百以ノ
ねんごろ心ハ　此段男女事ニ
うらもなく真実の心用捨人ノ為ニ有ル
ねんごろ心ニ云ヘリ　人の下仰　此段男女事ニ
礼容をかざり　とゞろくやうにハ　礼ノ
なくてかざりたる文ふくに偽ノ有ル
ニ人のわざく　かたちうるはしく
むと思ふとも　釈奠ハ実
へくどくろざし　うとさ人の　此段ハ
こゝろ中ゝも　和を貴ふ心とのべより
愚論ニ曰ク礼用ハ為和貴
此段男女朋友ノ事ニ釈ス　樂ハ則流ト云ヘリ同
うるはしき　礼記ニ礼勝ル則離　樂勝ル則流ト云ヘリ同
と思ひつゝ

三八　名利　ミやうり
名利ハにげ　帰去来辞ニ心ノ為形役ト
荘子盗跖篇ニ名ノ正為名ノ我ノ正ノ為利ノ

名利實不順於理不監於道（此段ハ人ゝ名利ヲ好ミ真實ヲ忘レ心ヲ憒リテ遂ニ云顕ス所ノ是迄好ミ名ノ人ノ閑寂ヲ取リ〻ヘ名モ利モ一生ト云山籠人利ヲ好ミ名ヲ取リ求テ有ル間ハ急キ南北ニ走ル事ト云ヘリ）身ともに（ママ）財と好ム人度ニ富ト云ヘドモ身ト實ト（ママ）ニ離ヘ有リ人ヲ頓ラヘ山ノ宮ト云ヘリ文選ニ不懐宝ヲ以罪害ヲ招ト云ヘリ累ハ身ノ上ニ懸ル事ヲ云ヘリ財宝来ルトハ我生ル人ニ益ナキ事ヲ云ヘリ非ヲ引テ子孫ノ禍ヒヲ招ク事ヲ云ヘリ（白氏文集ニ身後堆金拄北斗不如生前一樽酒ト云ヘリ）

天ナル車肥ル馬范曾公詩肥馬衣軽裘揚々ト過ル閭里ニ雖得市童隷ニ為識者鄙ト云ヘリ（文選東都賦狷介ノ於山阿一珠ヲ於淵ニ是ニテ利ニ目ヲ人ノ上ニ著ケヌ人ヲ云ヘリ）よなぐべし（ママ）ぬ（ママ）ほ（ママ）ぬ（ママ）ほ（ママ）ぬ（ママ）ほ

なりと云舎とこのひもみ沢にもとゝ
云次第〳〵にくるに形〳〵畢竟ハ己
好が虚無自然の理に云誤ゝ【宿因】
ハ偖あり小智あゝ人偖ハ音無共ゝ
老子云大道廃有仁義の智恵出有大偽
有時ハ煩悩の消長ゝゝ 有智愚徒ゝ
煩悩ゝハ大旨度論曰煩悩者能ゝ心煩悩
悩故名煩悩又曰属嬢属嬢属痴是名煩悩
真の人ハ賢ゐ浮実のさひゝゝゞゝ名字
利欲ゝゝゝゞゝ落ゝゝゝ【けゝゝゝゝゝゝゝ】
もゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
と自問自答ゝ【可不可二條】可ハ善ゝ
不可ハ不善ゝ一條ハ一字ゝゝ【同】荘子齊物
論云方可方不可方可又云可乎可不
可乎不可ゝ 是善悪是非可不可為不可
曲直邪正一切世間の物論と有ゝゝ心ゝ
ゐここの人ハ荘子逍遥遊ゝゝ至人無己神人無
功聖人無名云【徳ゝハ名ゐ功ゝハ名のゝ
ゝゝ】【得失ゝハ利益損失ゝ】

人のせをもちゞなりのしろ人をし
ゐ人其よ受よろごまゝゞのはゝゝさ
ん人ホゝゝゝんやゝにゝべゝ【雖退之送王秀才序云其著於前一執若無毀於其後】
うゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ

雖のあとをかすてうたんとなん心ばへて
心ごころを物語りこのる
一定とかりぶみ 一言芳談上人のたまはく往
生は定まりぬと思ふ生るゝ不定と思ふ人は不
定なり 無量壽經曰設我得佛十方衆
生至心信樂欲生我國乃至十念若不生者不取正覺
心と 不定と思ふ人を同座不得疑惑と誡しめ給ふ
うべなるかな 是係念定生願に欲生我國不果遂不取正覺とかりまぐ疑惑の看は往
生をうべなひ給ふ也 此段念佛して佛と合ふ名を揚ることを
心也。此段淨土宗の教に上品中品下品の入を引證メホスコアリ其事十ノ三品ニ當テ三元ヘシ
トスリ

何の入道 凡惡をかすに若と揚ることは
聖人の心と入道といひて姓名をいはざる
此段兩説アリ異樣なる女なりとて
ことをのあらはさゞるをあやしうとそ
と上うて嫁をし是を事と終ゆるをほ
と歎の心愚ことにいくる一説又入道當
よ、ねんころなる女なりとて嫁をする事と
赦ざりと慶べきことやうの人よ尼ことに
やつのまゝ人よ尼ことにわらべ

加茂ノ競馬 若八内裏のをもんて
ゝ駿馬も五近馬場の真手離なご
省ノ夏半中行事ノ内公更根源ホよ
ゝくり又五月五日ノ節ニ五位以上進走
馬ゝ延喜式ノ兵部式ノ内ノ中比よ
ゝ武更絶て今ハ賀ノ日ノ更殘リ

時 悦目抄にうちのうちにそゝぐ約
のうちまをハのまゝのびちれ
ちがゝごとくうちのあらちの事今榊
檀のまと云物と

ゝ ぬひなゝわ 樽
よにいあそ物ふわうちぬ
べさ何よ月とさまぬ事
ゝにうさそ世のこまをれ
あさうそ人をんさをゝ真ゝく異ゝ
ゝ 三まとの 5葉愚人ト書 白物木朝
文粹ニアリ

九月谷かゝの前よ新人を尼ぞそくんて
よ車の前よ新人を尼ぞそくんて
ざゝゝ人名ゝてれらのさに
ちゝれごゝ人ゝちこん
てをを入ぬへなやうもなゝかゝれ
ゝのまは師のゝとて本のまさ
ゝぬぬくやうさねのこそやとを
ゝあうて新ゝんよゝのよ我心よ
ゝおゝひまにおゝがなゝ

ようらい　そで　今ゝやわらん。そまと　ふまてくるまろうとく日とく
らほうろうなる　おまへまいたろうものをといひてれば
おなる人ども　まてゝ　てんこつと見ゝてひとひ
ひ入りよさ。かねのちゝかの　ひゞんなまを
物人のをのいをたゝきさわぐ　よしもなうろうぬ　ものゝ
人名石よわゝど　文選　鮑照詩ニ人非木石豈無感ノ此段無常ヲ云ヒ生死ノ事ハ兎ノ角ニ
んもことわりをうつすこの心人彼名利ニ
唐橋中将　三儀中ね雅清ノ村上天皇公儀
久我ノ庶流　源氏　教相　真言宗ニ理論聖
教ヲ学ンヲ云ナリ　行ヲ事相ト云
ものわろ　けのわろ　けのわろ
瞳まどひ　目眉　額みうろうもと
二の年の半て　伶人の年ハ四十ニ

おでうーきさ 安摩ふそ、おうこさ幸すを
うえ沢ごまう、と二乃 年二あえ

眉 都なくもそれまど
えび二乃華し面のやう
よなりて見そいうでる
此段ハ行雑僧都ノ寺病ふー物語ふ智九
人ともおくの病ある幸ー天命なと勢分
なー論語二伯牛疾と病つ命ふ斯人也
而有斯病也孔子のくまくる事ふ
ゐし今をべー世間ふ病ふ依ず其人ノ善悪
と定しろすと成しろふ質と薬ふ
七情ふ感ふる所ふ依ず千差万別ノ病ず
其人ノ善悪ハ定りすーとねねの師を
ふ僧と云出ーそうる病もあるとそうと
まる多の華の末とけとうんがうも

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[朱]「用也」古特有制臣下不用。

朱代五位ノ上昇殿六位用之ヲ

[朱]「猶ホ」[朱]「ホ」[朱]「ホ」[朱]「

文化改元庚申

和井蔵書
史五〇一冊